

1000000人のキャンドルナイト  
@ Osaka City

Candle Museum 2006 winter  
12/01 friday 18:00-22:00

雨天の場合は翌日12月2日(土)18:00-22:00に順延。  
順延の際は、イベント内容が一部変更になります。  
12月2日(土)が雨天の場合は開催を中止させていただきます。



<http://www.candle-night-osaka.jp>

あなたからの一行メッセージ、受け付けています。フォトコンテストへのご応募も、このURLから。

心の奥の、

奥のほう。

いろんなこと、ちょっと戻って考えてみようかな。とか。  
ほんとうに大事なことが二番目かその後になっていないかな。とか。  
そんな、ふだん考えないことが思い浮かんできたりする大切さを、  
キャンドルの「ゆらゆら」は話しかけてくれるのかもしれないなあ。  
キャンドルナイトはこの冬、3回め。  
ぜひ「ゆらゆら」に会いに来てください。

この冬のキャンドルナイトには、  
続きがあります。

大阪には珍しい大雪で  
一日遅れとなった昨年冬至。  
梅雨のまっただなか奇跡的に晴れ渡った  
今年の夏至。どちらかの  
西梅田の夜に来てくださった人たちに、  
あらためてありがとうを言わせてください。  
(もちろん、2回とも  
足を運んでくれた人たちにも)

そして。  
3回めの1000000人の  
キャンドルナイト@OSAKA CITYは、  
冬至ではなく、12月1日の開催です。  
それは、キャンドルナイトを、  
もっともっと  
「あなた自身が主役のもの」に  
したかったから。

12月1日。ご来場いただいて  
感じたものを、それっきりでなくて、  
心の種火のように持ち帰っていただく。  
12月22日の冬至当夜、  
その種火を胸のなかから  
取り出して、灯す。そこまでが、  
今回の1000000人のキャンドルナイト  
@OSAKA CITYです。

ふだん見えない気持ちや、  
照らされてゆく。そんな  
2日間になればいいな、と思います。

candle installation

18:00

キャンドルアートによる「ひかりのインスタレーション」

アート系の学生たちが、会場いっぱいに作り上げる、個性あふれるキャンドルメッセージ。でも。いろいろ考えなきゃ、考えなきゃ、なんて、考えなくてよくて。あなたの目に映ったもの、心を照らしたものを素直に感じてもらえれば、それでいいと思います。それで。もしよかったら、参加アーティストたちと、いろいろお話してみてください。難しいことではなく、気軽に。

22:00

ひかりのインスタレーション参加チーム

[大阪モード学園] じゃ・じゃ丸's M&N 黒【KOKU】 りんごチェア SLEEP ちょっぷる	[大阪総合デザイン専門学校] HBN.00 Ca(カルシウム) 100B 夜の灯 [宝塚造形芸術大学] Team SHIMAMOTO	[大阪デザイナー専門学校] 1S-a girls あかいそら。 ちっちゃいもん作んねん♪ 新撰組 DAIGO!! 青ヒゲ危機一発!! 月下美人
---	--	--

turn off the light!

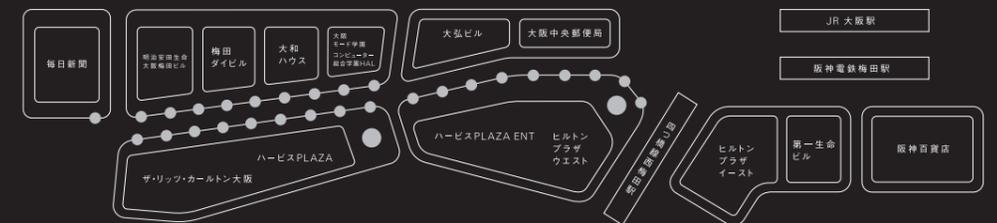
20:00

22:00

西梅田、冬の夜の2時間ライト・オフ(消灯)

12月のあわただしさ、にぎやかさ。忙しさに、寒さに、年の瀬のうきうき感に、足取りも速まる人たち。西梅田の街が、いちばん活気づく、そんなひととき…。開催エリア一帯のイルミネーション、ショーウィンドーの照明、社名サインやネオンなど人工の光が、ふと、2時間、眠りにつきます。明るさがたりなくなるのではなく、暗闇を、「足す」。それまで気にもとめなかった、澄んだ冬の空気の匂いに気づきはじめて、ひとつ、ふたつ、どこかでキャンドルに灯がともし始めます。

deceMBER 01 FRIDAY 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00



SWAROVSKI X Candle JUNE  
コラボレーション・ドーム

Candle JUNE  
interview

たった数時間のミュージアム

スワロフスキーのクリスタルオーナメントとCandle JUNEのキャンドルアートが、直径6mのドームを舞台にコラボレーション。1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITYには第1回から「皆勤賞」となるCandle JUNEさん。会場で会うJUNEさんとは違う、リラックスした状態でひざをつきあわせていろいろお聞きしたくて、東京・代々木上原のお店を訪ねました。

大阪らしくない!

1回目の参加で感じたのは、とても大阪らしくないイベントだということ。街のど真ん中で開催されているのに、イベントイベントしてない感覚、というか。大阪という土地がらを考えれば、もっとお祭りの盛り上げたり、見返りを求めてもよさそうなのに、それがまったくない。誰が何のために見に来てくれているのかもわからない。それでいて規模は大きく、たくさんの方が毎回集まってきてくれる。全国の中なかでも成功している例だと思います。とてもふしぎだけれど。

大阪らしい!

誤解されちゃうと困るんですけど、大阪の人って、環境をはじめ社会問題について、あまり積極的じゃないのかなって思ってます。たとえば東京の場合、積極的に取り組む派の勢いがすごく激しくて、実は一般の人とのギャップが大きい。で、結局、気持ちの輪が広がりにくい。逆に、大阪には、ゴミ処理場の建物を有名な外国アーティストに作らせたりする発想がある。フラストレーションをためず、楽しみながら可能性を広げてゆく大阪型の発想が、ここでのキャンドルナイトに生きているのかもしれないね。

今回は、言葉で語りません。

1回目。2005年・冬至。このときは、キャンドルナイトの持っている意味に自分がどう賛同し、どういう接点があるかの表現に専念しました。大阪という街に、自分のようなアンニュイなスタイルが交じり合えるのかという不安とともに。2回目。2006年・夏至。コンサートステージデコレーションでの参加ということもあって、自分は前面に出ることはせず、そのうえでどう関わるかを考えました。そして3回目。今回は、言葉で語らず、作った作品ひとつで完結したいと思っています。

ノンプレッシャーでやらせてもらいます。

Candle JUNEを知っていても知らなくてもいいんです。極端に言えば、出来上がった作品を子どもたちが見て「あーキレイだな」とか「なんだろねコレ?」とか。いろいろ思ってくればそれでよくて。東京でのキャンドルナイトは、それぞれ意味合いがハッキリと決まっています。アーティストとして参加するプレッシャーがすごくあるのですが、大阪は、もっと大きなものとしてとらえている。その分、イベントとしてまだまだ全部ができあがっていない。そこが、そのざっくり感が、心地いいんです。

スワロフスキーとのコラボは降って湧いた災難?

以前からスワロフスキーには興味があって。今回のコラボは、とても楽しみなのですが、でも不安もいっぱい。なにしろプロデューサーがいじわるで(笑)、依頼もギリギリだったし、綿密なプランを立てる余裕もない。アイデアスケッチだけでもこの誌面でみなさまにお見せしたかったんですけど、とても無理。すみません。とにかく、やってみなければわからない。終わるまでわからない。でも、それを「よし」としてくれる土壌が大阪にはあるんですね、お客さんにも、プロデューサーにも。チャレンジャーです。大阪は。

キャンドルナイトとの出会い

夏至の日に灯すと言う行為を始めたのは、WPPD(ワールド・ピース・プレイヤー・デイ)というアメリカ・インディアンのムーブメントへの参加です。毎年、夏至を開催日と定め、世界4大陸を「祈りをつないでゆく」もので、日本でも、2年前の夏至、富士山で開催されました。キャンドルナイトについて言えば、ムーブメントの広がりはもちろん知っていたけれど、最初から参加していたわけではなくて。それが、WPPDと同じ夏至の日に火を灯す、という共通点から、少しずつ、イメージがつながっていったんです。

12月22日を過ごすみんなへのメッセージ

大阪のキャンドルナイトに来る人は、みんなすごいです。ただキャンドルの灯を眺める受け手ではなくて、会場のあちこちで、自分たち主催のキャンドルナイトを楽しんで。灯す側、見る側に分かれている東京とはぜんぜんちがう。限りなく、自分たちが主役になっている大阪、いいなあ。だから、12月22日、冬至の夜も、同じスタンスがいい。ひとつの灯を、楽しく「シェア」してほしいと思います。それがいちばん、大阪的キャンドルナイトの主旨に近づくんじゃないかな。

これからのこと(Candle JUNE 私見)

今後、大阪のキャンドルナイトでの自分は、たぶん、キャンドルアーティストであるうがなろうが、常に何かに灯すということに専念してゆくんだろうな、と感じています。大事なのは、個人も企業も、参加する人たちみんなが、それぞれできることを持ち寄ること。ありそうで、ない、新しい「お祭りの形」ができるんじゃないかな、と。それが、大阪でのキャンドルナイトの未来図になってゆくんじゃないかなと思っています。



Candle JUNE

世界各地で火を灯す、Candle JUNE。1994年にキャンドルの制作を始める。1997年、ギャラリーやサロンなどでエキジビションを開催する。その後、ファッションショーや野外イベント、ライブステージ、レセプションパーティのデコレーションなど、キャンドルを中心とした空間演出を手掛ける。2001年に広島で平和の火を灯してから「Candle Odyssey」と称する争いのあった地を巡り火を灯す旅を始め、2002年にはアメリカを横断、N.Y. グランド・ゼロで火を灯す。2003年にはアフガニスタンへ。それ以降もカンボジアの孤児院を巡り、また新潟中越地震被災地川口町に行きチャリティーイベントを開催。2005年の8月15日、終戦記念日には中国、チチハルにて火を灯し、9月末にはテロ事件のあったロンドンへ行くと共にパリコレクションにも参加。火を灯す旅はまだ続く。

Candle JUNEの直営店です。  
ELDNACS エルドナックス  
東京都渋谷区西原3-22-10 SGビル102  
03 3468 5139 telephone, fax  
www.candlejune.jp

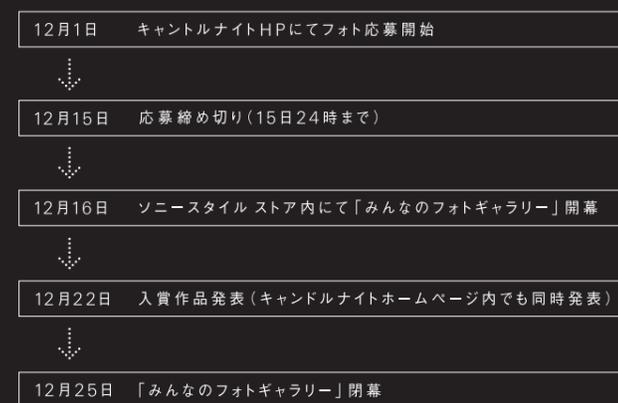
1000000人の  
キャンドルナイト  
@OSAKA CITY  
特別企画

12月1日。ゆらめく灯りに、感じるままに。  
当日、デジタルカメラをもって会場へ。  
渾身の1枚が撮れたら、ホームページから応募ください。  
◎応募期間：2006年12月1日(金)～12月15日(金)  
応募はこちらから<http://www.candle-night-osaka.jp>

## Sony Style Store presents

感じるままに、キャンドルナイト・フォトコンテスト

キャンドルナイトの  
感動を再び。  
みんなのフォトを、  
ソニースタイルストアにて  
展示いたします。



- 11月23日より12月1日まで、ソニースタイルストアにて、過去2回のキャンドルナイトの風景を展示しております。
- 12月16日からスペシャルイベント、プロカメラマンによる「キャンドルフォト展覧会」を同時開催いたします。

審査員/  
キャンドルフォト展覧会  
出品フォトグラファー  
profile

浅井康弘 yasuhiko asai  
1969 鶴田正義氏に師事  
1970 福田匡伸氏に師事  
1972-74 二科展入選・旭光学賞  
1974 浅井スタジオ設立  
1974 朝日広告賞・日経広告賞 入選  
1992 ニューヨークADC 入選  
1993 原宿 ハナエ・モリ オープンギャラリーにて個展

橋本剛志 takeshi hashimoto  
1977 福井県敦賀市生まれ  
1999 パナプラランテーションスタジオ入社  
2002 ホンマタカシ氏に師事  
2004 各国を放浪  
2005 フリーランスの仕事を開始  
雑誌、広告など、ジャンルやスタイルを問わず活動

あなたの想いを  
カタチに。

あなたの心に浮かび上がる想い。  
ソニースタイルストアは、その想いを大切にしたい、と思っています。  
製品を体験できるコーナーをはじめ、さまざまなセミナーを開催、  
あなたにあわせて、ソニーのあるライフスタイルをスタイリストがご提案します。  
ソニースタイルストアが、想いを灯すきっかけになればうれしいです。

## sony style store

デジタルカメラに関する  
コーナーやセミナーも。  
一部ですが  
ソニースタイルストアを  
ご紹介。



デジタル一眼レフカメラ体験コーナー

本格的なカメラってかっこいいかも。  
手にとってかまえたりと、  
実際に体験できます。  
気軽にお立ち寄りください。

はじめて使うわたしの一眼レフ講座

気後れしなくても、これなら安心。  
撮影のコツなどをいちからレクチャー。  
現在女性限定の講座を開催中です。

ITエンタテインメントセミナー

ステキなアルバムづくりも  
思いのままに。デジタルカメラで  
撮った写真の修正や編集も学べる  
「写真加工入門」も開催しています。



私たちがお待ちしております。

大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT 4F  
06 6344 5410 telephone 営業時間AM11:00～PM8:00  
ソニースタイル ホームページ<http://www.jp.sonystyle.com>  
ソニースタイルストア ホームページ<http://www.jp.sonystyle.com/Store>



今日、10人の人と言ってみよう「ありがとう」  
兵庫県西宮市 梨乃

人を優しい気持ちにするキャンドルの灯。私もそんな人になりたい。  
奈良県奈良市 香奈  
あなたが幸せそうにしているのがわたしの幸福なんです。  
大阪府大阪市 nagisa

自分に関係する人達は笑顔で生きていってください。  
大阪府吹田市 Kenta  
世界に、笑顔が流行すればいいなあ☆  
兵庫県西宮市 えりか

私の家族、友達、好きな人みんなが幸せでいれますように。  
大阪府吹田市 ☆ギズモ☆

わたしが出会ったみんなが健康で仲良く暮らしてゆけますように☆  
大阪府寝屋川市 ひろよ

口に出してよ言わんけど...これからも、ずっと好きやで〜!  
和歌山県和歌山市 海  
キャンドルナイトは私にとって地球に人に優しくなれる記念日。  
兵庫県西宮市 えみり★

自分勝手な私。本当の優しさを身につけられたらいいのにな。  
大阪府大阪市 miyu

いつか離れていくんだね。でもたまに思い出してね。パパより。  
大阪府寝屋川市 リーくん

キャンドルの灯りは、心もあたたかくなる。私にできることから、少しずつ。  
兵庫県西宮市 tommy

母として世界中の子供たちが幸せであることを願います。  
大阪府大阪市 種の花

笑う。話す。聞く。うまくできない。どうしよう!恋をしてしまった。  
兵庫県神戸市 手前の左から2番目

ステキなこといっぱい出会う。ステキなわたしでいたい★  
大阪府大阪市 まあちゃん

もっともっと中小企業を輝かせるぞ!  
大阪府大阪市 ビジスト

あなたが生きているという事実。それだけで、幸せの欠片。  
大阪府摂津市 にゃんこ

火は人間が初めて手にした灯り。だからかな? めっちゃ、落ち着きます。  
大阪府北摂 のりたん

あなたの隣は居心地がいいよ。いつもありがとう。  
大阪府吹田市 おまゆ

花火に火を点す様に当り前に。みんなに明りを分け合えたら。  
大阪府大阪市 あき

あなたに会えたから、今の私がいいます。  
兵庫県姫路市 がんちゃん

みんなのたった一つのやさしさと、生まれてきた星に輝きを作る☆  
兵庫県尼崎市 TAKADEE

いつもと違う街、いつもの君と。キャンドルに照らされて。  
滋賀県米原市 N

「猿も木から落ちる」って言うけれど 大切なのはまた登ること。  
大阪府高石市 WTR

大人になるまでず〜っと一緒にお風呂、入ろうね〜。  
大阪府西淀川区 なわ★たつ。

誰かの心に残るやさしい誰かになりたくてがんばっていきたい。  
大阪府吹田市 hitoe

愛は難しい。あなたを探してる。  
千葉県柏市 hiroto1978

"ふつう"の日々に幸せがある。そんなふうに思えるのが素敵。  
大阪府豊中市 haruka

今年もいっぱい村上権に会えますように♪  
台湾台北 ケイコ

竹村真一 shinichi takemura

1959年生まれ。  
Earth Literacy Program代表。  
東京大学大学院文化人類学博士課程修了。  
20代には世界約70カ国を踏破。  
現在は地球時代の人間学を構想するかたわら、  
IT社会の可能性を広げるさまざまな  
実験プロジェクトを推進。

'96年に制作したウェブ作品Sensoriumは  
電子アートの登竜門アルス・エレクトロニカで  
グランプリ受賞。その後、世界初の  
マルチメディア地球儀「触れる地球」や  
「100万人のキャンドルナイト」、  
ユビキタス携帯ナビ「どこでも博物館」、  
構造改革をライブ的に可視化した  
「日本改革前線マップ」などをプロデュース。  
愛・地球博でも、アフガニスタンやスリランカの  
子どもたちとリアルタイム対話を試みる  
「地球回廊」などを企画。「触れる地球」は  
2005年グッドデザイン賞・金賞、  
「どこでも博物館」と「改革前線マップ」は、  
2005年国連情報社会サミット  
日本代表（最優秀賞）に選ばれる。  
著書に「呼吸するネットワーク」（岩波）、  
「宇宙樹」「22世紀のグランドデザイン」  
（慶応大学出版会）、「ひとのゆくえ」  
（求龍堂）など。現在、京都造形芸術大学教授  
（文化人類学、情報環境論）。

Earth Literacy Program  
<http://www.elp.or.jp/>



先生をお願いします。

このインタビューさえ読めば、どんな人でも  
「1000000人のキャンドルナイト  
@ OSAKA CITY」のことがだいたいわかる。  
そんなページにしたいんです。  
むずかしい言葉もあまり使いたくないんです。  
先生！1000000人のキャンドルナイトに  
ついてわかりやすく教えてください。

一問一答で行きます。

まず、たぶん、みんなが単純に疑問に  
思っていることをお聞きしますね。  
どうして「冬至」と「夏至」なのですか？

あ。そこからスタートするの、いいかもしれない。  
こたえは、じつは、ふたつあるんです。  
まずひとつめ。冬至・夏至という、1年のうち、  
太陽がいちばん長いか短い日(ヒ)に、  
キャンドルの灯(ヒ)をともして、  
心の火(ヒ)を思い出す。つまり、3つの(ヒ)が  
重なるのが冬至と夏至なんです。  
で、ふたつめ。  
「1000000人のキャンドルナイト」の  
言い出しっぺたち(呼びかけ人)のなかで、  
まずネガティブなことはまったく  
言わないと決めて。「人間の都合がいっさい  
入らない日にしよう」と話しあったんです。  
たとえば、平和の日とか何かの記念日にすると、  
ムーブメントに「色」がつくし、国によって  
違うでしょ。そんな、文化の違い、民族の違い、  
政治的な理由などがからまない日が  
いちばんいいね、ということになって。何でも  
人間の都合で動かしている時代に、  
ひとつくらい、人間の都合で動かない日が  
あってもいいんじゃないかな、っていう…。  
冬至と夏至は、宇宙の都合、宇宙の論理。  
人間の「色」に染まりようがないんです。

なるほど。それはわかりやすい。スッキリしました。  
では次も単純な質問。1000000人の  
キャンドルナイトっていう名前はどうして？

キャンドルナイトっていうムーブメントには  
「元」があって、アメリカで始まった  
「unplugging / アンプラグング  
(プラグを抜いて電気を消す)」っていう  
運動なんだけれども、ブッシュ政権の  
エネルギー政策への反対運動なんです。  
それをヒントに、日本でも同じようなことを  
やれないかな、ということになって。  
そのときボクが提案したのは、基本的には  
意味のある活動だと思うけれど、  
否定形で言うのはやめようよ、ということ。  
省エネとかムダな消費をやめよう  
ということではなくて、逆に、キャンドルに  
灯をともすっていうポジティブなことを強調した  
肯定的なものにしよう、と。  
「あれ？ボクたちって、そんなにたくさん  
電気を使わないと本当に暮らせないのかなあ、  
ということを、いちどリセットして考えてみる  
いい機会になればいいんじゃないかな」と  
思ったんです。

## interview shinichi takemura

100万人のキャンドルナイト呼びかけ人代表／文化人類学者

それが2003年ごろなんですね。

そうそう。だから、反原発とか地球を守れとか  
声高に謳うんじゃないで、  
ひとりひとりが「気付き」の時間が持てれば  
いいんじゃないかって。とにかく2時間、  
電気をoffにして。そうすると、  
都会でも意外に星が見えるなという発見を  
する人もいれば、見慣れた家族の顔が、  
テレビという照明に照らされないことによって  
急に距離感が変わったり、個人個人、  
いろいろな「気付き」があると思うんです。  
そういう2時間を通じて、地球との関わりや、  
自分のことについてリセットする、  
「小さなためいき」のような時間。  
そんな時間を日本全国で、全世界でいっしょに  
持つというのは、なかなかおもしろいこと  
ですよ。基本的には、そんな小さな試みが、  
全国的にシンクろするようにして始まったのが  
1000000人のキャンドルナイトなんですね。  
そんなに練りに練ってひねり出した  
イベントでもないんだけど、そのシンプルさが  
かえてよかった、というのもあるんでしょうね。

キャンドルの灯し火を見たときに、  
人は、何か落ち着くというか、素直になれます。  
そういうことも含めて、キャンドルナイトだと。

そのことで言うと、キャンドルナイトというのは  
まさに今、この21世紀初頭に起こった  
ムーブメントなんだけれど、すごく遠い  
過去にもつながっていて、また、すごく遠い  
未来にもつながってゆくムーブメント  
なのかなって思っています。  
遠い過去っていうのは、やっぱり、人間の、  
「火の記憶」みたいなこと。少し難しいことな  
りますが、人間の古層、古い文化記憶や  
生命記憶のなかに、昔から火を大切にしてきた  
文化があるからなんです。だからみんな、  
キャンドルの火を見たときに、とても大事な  
時間を思い出す。本来ありたかった自分に  
戻れる。そういうことなんだと思いますよ。

未来につながるムーブメントということと  
言えば、この1000000人のキャンドルナイト  
@ OSAKA CITYも、どんどん  
ステージアップしてゆきたいと思っていて。  
スペシャルアドバイザーをお願いしている  
先生からご覧になって、  
どんな方向性が見えていらっしゃいます？

ボクは、アジアとのつながりを考えると、  
大阪の持つ意味ってすごく大きいんじゃ  
ないかなって思う。いま、京都の大学で  
教えているんだけど、キャンドルナイトの話に  
共感して熱リアクションを送ってくるのは、  
韓国系・中国系の留学生在が圧倒的に  
多いんですよ。国としては政治的、経済的には  
日本との間にいろいろあるんですけど、  
若い世代は、リアルタイムに、  
次の地球をデザインしてゆきたい気持ちを  
私たちと共有していますね。そういう意味では、  
キャンドルナイトっていうのは、  
はじめからアジアの中に潜在的にあって、  
まだ、目に見える形で灯されていないだけ。  
これは、日本だってそうだったと思っています。  
ボクたちの呼びかけは、  
最後の点火のきっかけを作っただけ。  
じゃなかったら、呼びかけるくらいじゃ広がり  
しないですよ。そして、もうすでに  
「見えないキャンドルナイト」は  
アジアにどんどん広がりつつあると思ってる。  
それに、目に見える形で点火してゆくのは、  
ボクは大阪からの風がおおきいんじゃないかな  
って期待しているんです。  
その点火剤に、ぜひなってほしいな。それと。  
来年はブレオリンピックの年。たとえば、  
北京や上海などからアーティストを招いて、  
聖火リレーみたいにキャンドルリレー  
してもらおうか。そんな試み、どうかなあ。

それ、いただきます。素敵ヒントです。  
では、最後に。先生は、キャンドルナイトという  
発信を通じて、今後、地球レベルの  
気持ちの変化について、  
希望みたいなものは持っておられますか？

いまいちばん心配してるのは、地球の  
リアルが見えていないってことなんです。  
温暖化以外にも危ないことはいっぱいあって、  
たとえばいま日本は一日に33億円かけて、  
食べ残しを処分している。  
ボクは、「もったいない」とかいうのはあまり  
好きじゃないけれど、あえて「もったいない」  
といえば、人間が、人間としてできることを  
してないことのほうがもったいない。  
もっと真つ当な文明、品格のある文明を作る  
はずなのに、それをしない。  
「コモンセンス」という言葉がありますね。  
「常識」なんていう薄っぺらい意味じゃなくて、  
ボクは、コモン、つまり「共有された」  
センスと呼びたい。机の上で考えるのではなく、  
ふつうの生活感覚としてのセンス。  
その大切さを、イデオロギーじゃない方向から  
広げてゆくウェーブとして、キャンドルナイトが  
あるんじゃないかなと思います。  
そして、世界中のあちこちで、まだ目  
見えないキャンドルナイトに点火され、地球の  
リアルが可視化されたときに、社会は一気に  
いい方向に変わってゆくと思うんですね。

12月22日に  
読んでほしいページ

さあ、今日は12月22日。冬至です。  
あなたの好きな場所で、あなたの好きな人と、  
ステキなキャンドルナイトをお過ごしください！  
日が落ちたら、心の種火を、お好きなキャンドルに移しかえて。  
間に浮き上がるキャンドルの灯し火。  
心に湧き上がる願い、想い、未来、夢...。  
あなたが大切にしているものたちと、しばらくのあいだ、  
ゆっくり、おしゃべりしてみてください。  
恋人、家族、大好きな友だちどうし。  
もちろん、ひとり静かに過ごすのも素敵だと思います。  
なにかひとつでも、いままで気付かなかったことと  
出会えたら、素敵だな。

## family

ふと気付くと、恥ずかしさもなくなって  
無言でキャンドルをながめていたり。

ちょっと恥ずかしいかもしれないけど。  
初めてきく子どもの話や大人な言葉だとか、  
うれしい気付きがあるかも知れません。  
無言でもいいんです。家族だからこそ心で  
いっぱいおしゃべりしてるはずですよ。

おすすめキャンドル

●シレットグラスシリーズ  
グラスに描かれたイラストが、火を灯すと  
浮かび上がります。  
子供たちも喜んでくれるはず。



ダンシングスノーマン

●キューブキャンドル

外側が溶けにくい二重構造。ロウが  
外側に垂れないからテーブルなどが汚れず  
使いやすいですよ。



## friends

選んだキャンドルで、やっぱりねとか。  
突然カッコよく見えたり、意外な発見です。

好みのキャンドルを持ち寄って、  
個性あふれるキャンドルパーティーを。  
さて、暗闇にキャンドル。灯りのせいか、  
もともと気になっていたのかはともかく、  
男女の距離が縮まることは多いようですよ。

おすすめキャンドル

●カラークリアカップ入りキャンドル  
キャンドルを灯すと、カップの色がきれいに  
広がります。シンプルなガラスホルダーが  
ひとつあればOK。



●フローティングキャンドル

冬の気分を盛り上げるには雪の結晶や、  
星のかたちがおススメ。  
ボウルに水を張って、楽しんで。



フリザードフローティング



シューティングスターフローティング

## lovers

お互いの気持ちがゆっくりとけて、  
すこし奥まで、のぞけそう。

普段は少し無口で、恥ずかしがりやで、  
言いたいことを胸の中にしまっていたり。  
でもこの機会に、ちょっとキャンドルに助けて  
もらえば、普段なかなか言えない気持ちを  
言葉にできそうです。

おすすめキャンドル

●ブランシュール  
石のような質感で、アンティーク調の  
彫刻が人気。程良い透け感でほのかな  
灯りが広がります。



●エンジェルウィング

キャンドルを灯すと幸せの天使が  
舞い降りるという言い伝えをそのまま  
形にしたキャンドルです。



## myself

火って、なんだか癒されていく。  
ひとりでゆっくり想いの棚卸し。

キャンドルをテーブルの上に灯すカフェって  
多いですね。落ち着いて食事や会話が  
楽しめる、しかも普段よりすこしおしゃべりに。  
それはキャンドルが、心のふたを  
開けてくれるからかもしれません。

おすすめキャンドル

●クリスマスバスあかり  
割れにくいポリカーボネート製のカップだから  
バスルームでも安心して使えます。  
冬にピッタリのさわやかな香り付きです。



**K**DESIGN  
kameyama

カメヤマ株式会社キャンドルハウス事業部  
<http://k-design.kameyama.co.jp/>

カメヤマキャンドルハウス CHA 青山店  
東京都港区北青山1丁目4-6  
カメヤマキャンドルハウス  
03 3478 7715 telephone  
03 3478 9227 fax  
cha@kameyama.co.jp mail  
※ファックスとメールにて  
通信販売も行っています。

## movie

「不都合な真実」

### information

アメリカの元副大統領アル・ゴアが、真摯に、でもユーモラスな視点で「地球温暖化」を語ってゆく。環境問題の映画を見に行くんだ、という殊勝な気持ちより、新しいタイプのヒューマンドキュメンタリーを楽しむくらいの気軽さで観ていただきたい作品です。

環境問題を研究するロジャー・レヴェルの地球環境への警告に心を動かされ、70年代後半から環境活動を始めたゴア。97年には京都議定書など、多くの交渉の場に参加した。しかし、2000年の大統領選でのブッシュへの敗北を機に、自分の本当に進むべき道、生の声で人々に温暖化問題を伝えることを見出した…。地球の未来を信じているからこそ、立ち上がった孤高のサムライ。

「不都合な真実」はそんな男の勇気と希望に満ちた闘いを温かい視点で見せる異色作だ。彼が行ったスライド講演は、アメリカだけではなく、ヨーロッパやアジアなどでこれまで1000回以上を数える。そこで明かされるのは驚愕の事実の数々。



北極はこの40年間に40%縮小し、今後、50~70年の間に消滅するといわれていること。氷を探して100キロも泳いで溺死した北極マスの悲劇的なレポートも伝えられる。また、数百万におよぶ渡り鳥が温暖化の被害を受け、種の絶滅の割合は過去の記録の1000倍に達しているということ。

昨年、ニューオーリンズを襲ったハリケーン、カトリーナのような大きな自然災害も増えた。環境破壊のせいで、今後、20万人もの難民たちが大移動する、とも言われている。多くの政治家たちが耳を貸そうとしない「不都合な真実」。しかし、私たちが日々の暮らしの中で小さな努力を重ねることで、地球を変えていけるとゴアは訴える。それぞれの問題は日常生活の中でつながっており、車の排気ガスを減らしたり、自然エネルギーを取り入れることで、事態は確実に改善されていく。けっして他人事ではない環境問題を豊富なデータを使いつつも、パーソナルな視点でとらえ、見る人の意識を完全に変える新しいタイプのヒューマンドキュメンタリーとして社会的な反響を呼んでいる。



2007年1月20日より  
ナビオTOHOプレックスほか  
全国にてロードショー  
配給：UIP映画

## cafe

キャンドルナイトカフェ at The Grand Cafe

もうひとつの、地上6階のキャンドルナイト。12月1日のキャンドルナイト当日、グランカフェが一夜限りのキャンドルナイトカフェになります。カメラマローソクプロデュースのもと、すこし照明を落として、キャンドルの灯りで幻想的に。開放的な空間、美しい夜景も手伝って、ゆったりとした時間が過ごせるはず。当日はイベントとカフェ、2つのキャンドルナイトをお楽しみください。



### THE HERBON PLAZA HALL The Grand Cafe

大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト6F  
open 11:00am~close 11:00pm  
キャンドルナイトカフェ 6:00pm~10:00pm  
06 6342 0022 telephone

キャンドルディスプレイ協力  
カメラマ(株)キャンドルハウス事業部

candle night 2006  
winter solstice@osaka city  
production team

主催  
100万人のキャンドルナイト  
@オオサカシティ実行委員会

planning committee  
herbis plaza  
herbis plaza ent  
hilton plaza east  
hilton plaza west  
the mainichi news papers  
bau-communications

阪神電気鉄道  
吉本ビルディング  
第二吉本ビルディング  
毎日新聞社

total produce  
manabu mizuguchi  
(bau-communications)

後援  
大阪府  
大阪市  
大阪商工会議所  
スポーツニッポン新聞社大阪本社  
fm osaka

produce support  
naoto kamikubo  
(bau-communications)

協賛  
カメラマローソク  
千趣会  
ソニースタイル ストア  
阪神百貨店  
富士電機グループ

creative direction  
and copywriting  
ichiro ito

キャンドルアート制作協力  
大阪モード学園  
大阪総合デザイン専門学校  
大阪デザイナー専門学校  
宝塚造形芸術大学

copywriting support  
hiroyuki kakutani  
(bau-communications)

コラボレーションアート  
Candle JUNE  
(アーティスト/空間演出家)

main photograph  
yasuhiro asai

コラボレーションアート特別協力  
スワロフスキー・ジャパン

printing direction  
kousoku-offset

企画制作・プロデュース  
パウコミュニケーションズ

event direction  
yasunori fukugawara  
(shinkosha)

アドバイザー  
竹村 真一  
(文化人類学者/100万人の  
キャンドルナイト呼びかけ人代表)

web-site direction  
and design  
daisuke nagamori(unicum)  
hideo tsujikawa(unicum)

お問い合わせ先  
100万人のキャンドルナイト  
@オオサカシティ運営事務局  
(パウコミュニケーションズ)  
06 6446 1726 telephone  
06 6446 1717 fax  
candle-night@bau-com.co.jp

special thanks  
shozo shimamoto(artist)



12月1日は西梅田の会場で、冬至の夜は、あなたの好きな場所で、あなたの好きな人と、ステキなキャンドルナイトをお過ごしください！